

埼玉医科大学病院 総合診療内科

指導医

氏名	職位	専門医資格
中元秀友 (腎臓)	診療科長、運営責任者、教授	内科学会認定医・指導医、総合内科専門医、腎臓内科認定専門医・指導医、アフエレーシス学会認定専門医、透析療法学会認定専門医・指導医、高血圧専門医、プライマリケア連合学会認定医・専門医、産業認定医、修練指導医、米国内科学会専門医、医師会認定健康スポーツ医
山本啓二 (心臓)	心臓内科責任者、教授	内科学会認定医、総合内科専門医、循環器学会専門医、心臓病学会特別会員
今枝博之 (消化管)	副診療科長、教授	内科学会認定医・指導医、総合内科専門医、消化器病学会専門医・指導医、消化器内視鏡学会専門医・指導医、消化管学会胃腸科認定医・指導医、H. pylori 感染症認定医、カプセル内視鏡学会暫定指導医、プライマリケア連合学会認
宮川義隆 (血液)	副診療科長、教授	内科学会認定医・指導医、総合内科専門医、日本血液学会認定血液専門医・指導医、臨床腫瘍学会暫定指導医、がん治療認定医・教育医
橋本正良 (高齢者)	教授	日本内科学会指導医・認定医、日本老年医学会老年病専門医・指導医、日本プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医、日本未病システム学会未病医学認定医
岡田浩一	兼任教授、腎臓内科教授	内科学会認定医・指導医、総合内科専門医、腎臓内科認定専門医・指導医、透析医学会専門医・指導医、産業認定医、米国内科学会専門医
廣岡伸隆	准教授	日本内科学会認定医・指導医、日本プライマリ・ケア連合学会認定医・指導医、日本病院総合診療学会認定医、DABFM 米国家庭医療学会専門医
井上清彰	専任講師	内科学会認定医、糖尿病学会認定専門医
大庫秀樹	専任講師、研修医長	内科学会認定医、消化器病学会専門医、消化器内視鏡学会専門医、プライマリケア連合学会認定医
飯田慎一郎	専任講師、外来医長	内科学会認定医、循環器学会専門医、高血圧学会専門医

木下俊介	医局長、助教、神経内科	内科学会認定医・指導医、総合内科専門医 プライマリアソシエーション認定
小林威仁	病棟医長、助教、呼吸器内科	内科学会認定医、呼吸器学会専門医、アレルギー学会専門医、プライマリ

住所・連絡先

〒350-0495 埼玉県入間郡毛呂山町毛呂本郷 38

総合診療内科

電話：049-276-1667（直通）

教授（診療科長）中元秀友、Email: nakamo_h@saitama-med.ac.jp

教授（教育プログラム担当）宮川義隆、Email: miyakawa@saitama-med.ac.jp

診療科名

総合診療内科

研修プログラムの目標としている医師像

現在の医療形態として、Generalist と Specialist の二分化された医師の分業体制を形成している。すなわち（1）国民の多くの健康問題の大半を解決する能力のある一般診療所の Generalist と、（2）専門医の医療を必要とする少数の患者だけが紹介される病院の Specialist である。日本医療の大半は開業医が中心となる Generalist が支えていたにも関わらず、これまでの日本の医療は Specialist の育成に特化しており、Specialist が開業すると突然 Generalist として多くの患者さんの診療にあたる形態が主であった。そのための Generalist の育成を専門に行える施設は大学病院にはほとんど見られなかった。その結果多くの Specialist が誕生したものの、救急医療や一般医療を支える Generalist が十分育成できず、近年の医療崩壊をもたらした。当科はそのような医療現状をふまえ、十分な外来診療、さらに救急対応のできる医師の育成、すなわち Generalist の専門家を育成することを目標として設立された。

スタッフ人数

常勤 12 人（男性 12 人、女性 0 人） 非常勤 7 人（男性 4 人、女性 3 人）

レジデント人数

10 人（男性 10 人、女性 0 人）

* 内科系後期研修医、初期研修医、クリニカルクラークシップの学生が診療チームに参加。

当直

月あたり約 3 回（病棟 2 回、ER1 回） 当直明けの帰宅可（昼以降の帰宅となります）

診療科独自の病床数

平成 28 年 3 月に総合診療内科の新病棟が完成し、HCU8 床を含む約 50 床で稼動しています。

研修終了後の主な進路

埼玉医科大学、慶應義塾大学、埼玉県・東京都の関連医療機関、海外留学、開業など

勉強会やカンファレンスの開催曜日・時間とその概要

会議名	時間	内容
モーニングカンファレンス	毎日、午前 8 時 30 分	当直帯からの申し送り
新入院・重症患者カンファレンス	月曜、午前 8 時	新入院、重症および教育的な症例について
症例検討会	火曜、午後 4 時 30 分	入院患者全員の診断と病態、診療方針の確認
チームカンファレンス	毎日、午後 5 時	各チームのリーダーが中心となり病棟回診と教育的なクルズス
抄読会	水曜、午前 8 時	科学的根拠を基本とする診療、最先端の医科学について論文発表
新薬検討会	火曜、正午	新薬の臨床的位置づけについて、診療ガイドラインレベルで検討
教授回診	火曜、午前 8 時	入院患者の教育回診をスタッフ全員で行う
他科との合同会議	毎月 1~2 回	重症な症例を中心に診療方針の確認、およびクルズス

具体的な研修内容紹介

1. 現在の体制 現在内科全体のすべての初診患者の診療、時間外患者、さらに救急患者への対応（ER センター）を全内科と協同で行っており、全科の専門医がそろっている唯一の診療科である。また病棟では、初期診療から重症患者まで、種々の疾患への初期対応、診断、治療、さらに退院後の介護を含めた全般的な医療への指導を行っている。

指導体制としては内科の認定医・専門医が中心となり、初期診療から診療計画の立て方、さらに治療計画の立て方等を学ぶことができる。全科の専門医がそろっており、個々の患者への対応を全内科専門医のチームが協同で行う。そのため、個々の患者を全身から考えてゆくことが可能となる。理想的な教育環境が整っている。

当科では各科の専門医も揃っている。したがって、個々の医師は自分の目標と専門性を設定し、その専門性をも身につけることができる。当科では、各診療科と相互協力体制があるため、すべての内科各科の内科専門医を取得することが可能である。専門性を身につけた総合診療医の育成ができる日本で唯一の総合診療内科であり、各領域の専門医の取得も研修医の育成において大きな目標である。

2. 埼玉医科大学総合診療内科の特徴 埼玉医科大学病院総合診療内科の特徴は、埼玉医科大学が地域に根付いた病

院であり多くの外来診療患者が通院していることから、Common Disease から専門医の診療が必要な高度先端医療の対象患者まで幅広い患者層を有している。そのために外来診療で経験する症例数は全国でも有数といえ、初期外来診療を経験するには最適の教育医療機関といえる。特に当院の総合診療内科では、急性期疾患を中心とした時間外・休日急患診療センターの診療と、生活習慣病を中心とした慢性疾患外来の二つを受け持つことで、外来診療の技術を習得することができる。

さらに診療科内には腎臓内科、糖尿病内科、神経内科、消化器内科、循環器内科、血液内科、腫瘍内科、超音波等の専門医もそろっており、専門医による指導も常時行われている。

3. 外来診療について

当院総合診療内科の外来初診患者数は、毎月約 2,000 名と多い。卒後 3 年目から外来診療を担当し、専門医の指導をきちんと受けることができる。このため鑑別診断の能力、必要な検査などの見極め、診療方針を自ら立案する能力を身につけられる。

外来初診患者診療実数（月別）

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
H24	1731	1818	1866	1901	1963	2144	2029	1853	1906	1832	1742	2002
H25	1864	2007	1972	2166	2036	1879	2027	1922	1854	1858	1743	2010

外来診療患者数は上記のように平成 24 年度初診患者総数 22,787 名から平成 25 年度 25,348 名へと着実に増加した。また、平成 21 年 2 月に入院ベッドを開設し、平成 24 年度より 26 床のベッドを運営しており、平成 27 年度には HCU 8 床を含む、合計 43 床の新病棟（東館）を開設した。ER センターからの入院患者も積極的に引き受けている。

このように、総合診療内科は初期診療を中心に、時間外診療、救急診療にも従事しており、患者の初期対応、救急対応、入院治療、さらに退院後への対応まで、一貫した教育体制をとった診療科である。特に研修医には難しいとされる初期診療にも

積極的に関わる診療体制が完備されており、研修医への研修システムとして理想的な環境整備ができています。

その他自由記載

「総合診療専門医」と「内科専門医」の育成を、責任を持って行います。是非、一緒に楽しみながら働き、腕を磨きましょう。

ホームページ：

<http://www.saitama-med.ac.jp/hospital/division/97general/staff.html>